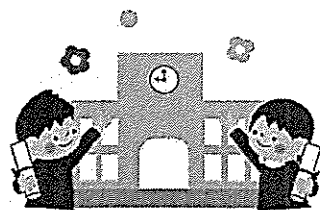


図書館だより 2・3月号 奈良大学附属高等学校 図書部 発行



インフルエンザのピークも過ぎ、少し落ち着いてきたようですね。

3年生のみなさんは登校日も終えて、もう卒業式が目の前です。3年間の色々な思い出がたくさん詰まった本校校舎に別れを告げ、それぞれの新しい場所へと旅立っていきます。その旅の道中、どんな出会いが待っているのか、楽しみです。本との出会い、人との出会いは、自分の人生をより豊かなものにしてくれます。より彩りのある世界を楽しんでください。

コンクール受賞者 発表!!

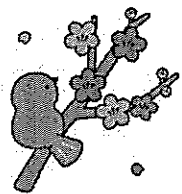
第64回青少年読書感想文奈良県コンクール

研究会賞受賞 1年E組 日攄 鼓 君

「僕の行く道」 新堂 冬樹 著
タイトル ～『僕の行く道』を読んで～



離れて暮らす母に会うため、小学3年生の沖田大志はひとり、旅に出る。途中、さまざまなトラブルが大志に降りかかるが、行く先で出会う人々の優しさに助けられ乗り切っていく。心細い思いをしながらも健気に旅を続ける大志は、果たして母に会えるのか? 「涙でページがめくれませんでした」という読者が続出した、親子愛溢れるハートフルストーリー。



自分の将来について全くと言っていいほど決まっていないという日攄君ですが、主人公の沖田君の勇気ある行動力、遠く離れて住む母親への一途な強い思いに、ますます物語にのめり込んでいきます。そして最後には、「これからの将来を前向きに、そして素直な気持ちで色々なことに挑戦していきたい」と最後はしめくくっています。

第36回読書感想画奈良県コンクール 優秀賞受賞

3年A組 宮内 翔梧 君

「キツネのボックス」 ペニーペッカー、サラ 著

『この本では、少年とキツネのボックスが戦争によって引き裂かれ、互いに過酷な状況に立ち向かいます。その時のボックスの不安や恐怖などの感情を表現しました』

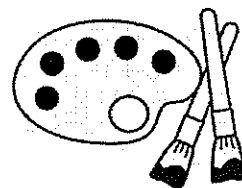


第36回読書感想画奈良県コンクール 優良賞受賞

2年B組 米須 友季乃 さん

「100年の木の下で」 杉本 りえ 著

『100年という長い時間、お地蔵さんを通して、血筋だけでなく色々な人の思いも繋がっているのだなと思いました。人の心の温かさをイメージし、柔らかな雰囲気を描きました』



図書委員 今月のオススメ

2年E組



君の臓物を
たべたい

著者名:住野よる
出版社:双葉文庫

あらすじ
主人公の僕は、病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それは、クラスメイトの山内桜良が、書いた秘密の日記帳だ。そこには、彼女の余命が「臓物の病」によりもう長くはないと記されている。

感想
性格の正反対の僕と桜良が物語が進むにつれて仲良くなり、桜良が初めて私自身として必要とされている、と感じていく所がすごく感動的でした。この本を読んで、もっと一日一日を大切にしようと思いました。ぜひ、読んでみてください!

「5分後に後味の悪いラスト。」

編者 エアリスタ

出版社 河出書房新社

1年G組



小説投稿サイト「エアリスタ」が主催する短編小説賞...

「3行から参加でマズミ・感想コンテスト」入賞作品から、さらに選りすぐりのものを集め、大幅な編集を施したものです。

タイトル通り、5分後に後味の悪いラスト。

本を読むのがエゴテリムや時間の無駄におもわれる。短い作品でもちゃんと後味の悪いラストで読者を悩ませる。後味の悪い話ばかりがエゴテリムでは5分シリーズの本を読んでみてほしい!

あつたのココロに、5分間のさうりき。

じ

じ



1月の図書館利用状況			
1年生	2年生	3年生	合計
72人	59人	33人	164人

3年生は一般試験のまっただ中。まだまだ後期試験まで受験勉強に励んでいる受験生もいます。最後まであきらめず、頑張ってくださいね。1,2年生は、学年末テストが近付いています。この1年間の学習の成果を発揮することができるよう、体調をしっかりと整えて、計画を立てて対策しておきましょう。